

2023年8月7日

**味の素(株)、TechMagic社と資本業務提携**

テクノロジーと融合した新たなソリューションを共創し、社会課題解決を促進

味の素株式会社(社長：藤江 太郎 本社：東京都中央区)は、テクノロジーによる持続可能な食インフラの創造に取り組むスタートアップ企業であるTechMagic株式会社(社長：白木 裕士 本社：東京都江東区 以下TechMagic社)と、資本業務提携に関する契約を締結しました。今回の資本業務提携に基づき、両社は、フードテックにおける最先端技術や知見を活用し、フードサービス業界(外食・中食産業)における人手不足解消や生産性を改善する新しいソリューションを共創していきます。

現在、国内のフードサービス業界では、慢性的な人手不足や賃金上昇、食材価格の高騰によるコスト上昇等が深刻な課題となっています。このような状況において、同業界では、オペレーション改善による効率性向上、商品・サービスの付加価値向上が急務となっており、調理ロボットなどを活用した新たなソリューションが期待されています。

当社は、2021年10月にTechMagic社との協業を開始して以来、独自の「おいしさ設計技術®」\*を活用した調味料、アプリケーションの提供を通じて、高度な調理品質が求められるフードサービス向け「炒め調理ロボット」の開発を支援してきました。TechMagic社の「炒め調理ロボット」は、2023年6月に完成し、外食企業等での採用が始まっています。

\*アミノ酸研究を礎に育んできた「おいしさをサイエンスで捉え解析することで、おいしさに重要な構成要素を特定し、ソリューションを設計する」味の素グループ独自の技術

[https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/rd/our\\_innovation/oishisa/](https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/rd/our_innovation/oishisa/)

この度の資本業務提携により、両社は取り組みの深化、拡大を図ります。当社は、「おいしさ設計技術®」に基づく、独自の調味料、アプリケーションの開発を加速し、調理品質の向上・調理時間の短縮・小型化を実現する調理ロボットの進化を支え、フードサービス業界におけるイノベーションを実現します。



TechMagic社社長 白木 裕士氏(右)と  
当社執行役専務 正井 義照



TechMagic 社  
炒め調理ロボット「I-Robo」

Eat Well, Live Well.

Aji  
AJINOMOTO

TECHMAGIC

- 「おいしさ設計技術®」に基づく、独自調味料とアプリケーション
- プロの「おいしさ」を実現する調理解析技術・知見
- 調理ロボットの企画、設計、開発技術
- プロの調理を再現可能にする調理科学技術

調理ロボットの進化を支える、最適な調味料、アプリケーションの開発を加速し、イノベーションを実現

## 参 考

### ■TechMagic社の概要

- (1)会 社 名 : TechMagic株式会社
- (2)所 在 地 : 東京都江東区
- (3)設立時期 : 2018年2月
- (4)代 表 者 : 代表取締役社長 白木 裕士
- (5)事業内容 : 調理ロボット事業、業務自動化AIロボット事業
- (6)WEBサイト : <https://techmagic.co.jp/>

2021年10月14日付プレスリリース

味の素(株)、テクノロジーによる持続可能な食インフラの創造に取り組むスタートアップ企業と協業開始  
[https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/presscenter/press/detail/2021\\_10\\_14.html](https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/presscenter/press/detail/2021_10_14.html)

味の素グループは、“Eat Well, Live Well.”をコーポレートスローガンに、アミノサイエンス®で、人・社会・地球のWell-beingに貢献し、さらなる成長を実現してまいります。

味の素グループの2022年度の売上高は1兆3,591億円。世界36の国・地域に拠点を置き、商品を販売している国・地域は130以上にのぼります(2023年現在)。詳しくは、[www.ajinomoto.co.jp](http://www.ajinomoto.co.jp)をご覧ください。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先 : [Pr\\_media](#)